

長崎大学

大学院医歯薬学総合研究科学生募集要項

生命薬科学専攻【博士前期課程】

一般入試

外国人留学生入試

平成30年10月入学

平成31年 4月入学

I	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）の教育理念・目標及び3ポリシー	1
II	一般入試	3
	1. 募集人員	
	2. 出願資格	
	3. 検定料振込期間	
	4. 出願期間	
	5. 出願手続	
	6. 選抜方法	
	7. 試験期日・試験科目・時間及び試験場	
	8. 合格者発表	
	9. 注意事項	
	10. 入学願書の記入方法	
	11. 出願資格の認定等について	
	12. 入学手続	
	13. 追加募集	
	14. 個人情報の取扱	
	15. 障がい等のある入学志願者との事前相談	
	16. 安全保障輸出管理について	
	17. 試験に関する問い合わせ先	
III	外国人留学生入試	10
	1. 募集人員	
	2. 出願資格	
	3. 検定料振込期間	
	4. 出願期間	
	5. 出願手続	
	6. 選抜方法	
	7. 試験期日・試験科目・時間及び試験場	
	8. 合格者発表	
	9. 注意事項	
	10. 出願資格の認定等について	
	11. 入学願書の記入方法	
	12. 入学手続	
	13. 個人情報の取扱	
	14. 障がい等のある入学志願者との事前相談	
	15. 安全保障輸出管理について	
	16. 試験に関する問い合わせ先	

- 各研究分野の研究内容 17
- 本研究科所定の用紙
 - 1. 入学志願票（一般入試・外国人留学生入試）
 - 2. 受験票・写真票・検定料納付証明書貼付票（一般入試・外国人留学生入試）
 - 3. 出願資格認定申請書
 - 4. 住所票
 - 5. 検定料振込書

I. 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）の教育理念・目標及び3ポリシー

（1）生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）の教育理念・目標

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 博士前期課程 生命薬科学専攻（以下、生命薬科学専攻）では、生命薬科学分野に関する高度の専門的知識及び能力を修得させるとともに、薬科学に関連する分野の基礎的素養を涵養し、高い国際性と倫理観を備えた創薬研究者及び高度専門職業人の育成を行うことを目的としています。

（2）生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）のディプロマ・ポリシー

所定のカリキュラムによる教育プログラムに定められた単位を取得し、

1. 生命薬科学に関する幅広い基礎知識を修得している。
2. 先端的生命薬科学研究を行うために要する研究技能の基礎を身につけている。
3. 自らが主体的に研究を遂行できる総合能力の基礎を身につけている。
4. 英文による先端的生命科学論文を作成する基礎能力を身につけている。
5. 生命科学研究者・技術者に必要な豊かな人間性、高い倫理観、協調性とリーダーシップを発揮できる基礎能力を有する。
6. グローバルな視点を持った生命科学研究者・技術者として、国際社会に貢献できる基礎能力を身につけている。

と認められ、修士論文が学位論文審査基準を満たした者に対し修士(薬科学)の学位を授与します。

（3）生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）のカリキュラム・ポリシー

1. 講義科目では、生命薬科学の知識や技術の基礎を学べるメディシナルケミストリー特論・メディカルバイオ特論・天然薬物資源学特論・ヘルスサイエンス特論・臨床応用薬学特論や、非臨床試験・治験、ならびに特許関連を含めた医薬品開発に関わる創薬プロセスを学べる創薬プロセス特論や、生命科学研究領域の最新的话题を幅広く学べる生命薬科学トピックスを設けており、学生は興味のある多様な生命薬科学領域を選択して基礎的知識を学びます。

学修の到達度は、授業への積極的参加状況、レポート、筆記試験等により評価します。

2. 課題研究では、分子創薬科学課題研究Ⅰ、健康薬科学課題研究Ⅰ、天然薬物資源学課題研究Ⅰ、臨床薬学課題研究Ⅰのいずれかを選択して、英文による先端的生命科学論文の読解や作成する基礎能力を学び、生命薬科学研究者・技術者として、生命薬科学の研究を通して国際社会に貢献できる基礎能力を学びます。また、グローバルな視点を持った生命科学研究者・技術者として必要な豊かな人間性、高い倫理観、協調性とリーダーシップを発揮できる能力を養います。

学修の到達度は、レポートとプレゼンテーション・ディスカッションを通じて評価します。

3. 実験科目では、分子創薬科学特別実験、健康薬科学特別実験、天然薬物資源学特別実験、臨床薬学特別実験のいずれかを選択して、各専門領域の実験技能の基礎や、自らが主体的に研究を遂行できる総合能力の基礎を身につけます。

学修の到達度は、研究・実験内容に関するレポートとプレゼンテーション・ディスカッションを通じて評価します。

(4) 生命薬科学専攻（博士前期課程 一般コース）のアドミッション・ポリシー

生命薬科学専攻（博士前期課程）は、入学者に以下の資質・素養を求めます。

1. 薬科学および生命科学分野に関する専門的基礎知識を有する。

筆記試験（専門科目）を課します。

2. 薬科学および生命科学分野に関して、論理的な思考能力や問題解決能力を有する。

筆記試験（専門科目）を課します。

3. 薬学・生命科学分野の研究者・技術者に必要とされる豊かな人間性、高い倫理観、協調性とリーダーシップを発揮できる素養を有する。

面接試験で評価します。

4. 生命薬科学領域に興味をもち、医薬品の開発、ヒトの健康増進に向けて積極的に取り組もうとする「意欲」と「夢」を持つ。

面接試験で評価します。

5. グローバルな視点を持ち国際的に活躍できる生命科学研究者・技術者になるために必要な総合的な英語の学力を有している。

書類審査（TOEIC 公式スコア）を行います。

選抜方法に関する別表（生命薬科学専攻 一般コース）

求める資質等	入試区分	一般入試 「外国人留学生入試」
専門的基礎知識		筆記試験（専門科目）
思考力・判断力・問題解決能力		筆記試験（専門科目）、面接試験
生命科学への関心・意欲		面接試験
人間性、倫理性、協調性、リーダーシップ		面接試験
英語力「外国語力」		書類審査（TOEIC公式スコア） 「筆記試験（外国語）」

Ⅱ. 一 般 入 試

1. 募集人員

【平成30年10月入学】

専 攻	平成30年10月入学 募集人員	備 考
生命薬科学専攻 (博士前期課程)	5人	

【平成31年4月入学】

専 攻	平成31年4月入学 募集人員	備 考
生命薬科学専攻 (博士前期課程)	35人	募集人員には、外国人留学生入 試の若干人を含む

※平成31年度中に平成31年10月入学（募集人員：1人）の募集を行う。

2. 出願資格

【平成30年10月入学】

- (1) 大学を卒業した者及び平成30年9月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成30年9月末までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年9月30日までに22歳に達する者
- (11) 前号までの規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科において、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと

認めた者

(注1) 上記(9)～(11)で出願する場合は、事前に資格を認定する必要があるので、平成30年7月2日(月)までに7ページに記載してある「11. 出願資格の認定等について」に従って関係書類を提出すること。

なお、上記(2)、(6)、(7)、(9)～(11)については、予め本研究科薬学系事務室学務担当に必ず問い合わせること。

【平成31年4月入学】

- (1) 大学を卒業した者及び平成31年3月までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び平成31年3月末までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末までに授与見込みの者
- (7) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により他の大学院に入学した者であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに22歳に達する者
- (11) 前号までの規定にかかわらず、文部科学大臣の定めるところにより、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者(これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。)であって、本研究科において、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者

(注1) 上記(9)～(11)で出願する場合は、事前に資格を認定する必要があるので、平成30年7月2日(月)までに7ページに記載してある「11. 出願資格の認定等について」に従って関係書類を提出すること。

なお、上記(2)、(6)、(7)、(9)～(11)については、予め本研究科薬学系事務室学務担当に必ず問い合わせること。

3. 検定料振込期間

平成30年7月13日(金)から平成30年7月24日(火)

※ 郵便局・ゆうちょ銀行又は銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行うこと。

4. 出願期間

平成30年7月17日（火）から平成30年7月24日（火）17時必着

※ 検定料を出願締切日に振り込む場合は、当日17時までに出願書類一式を持参することになるので注意すること。

5. 出願手続

(1) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学志願票	本研究科所定の用紙 ※印以外の欄はすべて記入すること。
写真票・受験票	・写真は、上半身、無帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
成績証明書	・出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの ・大学以外等については、最終学校長の証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
TOEIC公式スコア	・本試験日より過去2年以内の公式スコア(スコアレポート)を有効とする ・カレッジTOEICも可 ・原本とその写し各1部を提出
学位授与（見込）証明書	出願資格の（2），（6）に該当する者のみ
卒業（見込）証明書	・出身大学長又は学部長が作成したもの ・大学以外等については、最終学校長の証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
検定料納付証明書 貼付票	・検定料納付証明書貼付票には、受付金融機関の「日附印」が押印された「検定料納付証明書」を貼り付けること。
検 定 料	<p>30,000円</p> <p>① 振込期間：検定料振込期間による。</p> <p>② 振込場所：郵便局・ゆうちょ銀行又は銀行の受付窓口 （ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。）</p> <p>③ 振込に際しての留意事項 ア 振込時に別途必要な振込手数料は、入学志願者本人の負担となる。 イ 「振込書」の※に、入学志願者の住所・氏名（フリガナ）及び電話番号をボールペン（黒又は青）で正確に記入すること。 ウ 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず郵便局・ゆうちょ銀行又は銀行の日附印を確認すること。</p> <p>④ 出願に際しての留意事項 ア 検定料納付証明書貼付票に検定料を振込済の「検定料納付証明書」を貼り付けた後に記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合は、検定料は二重に振り込まないこと。その場合は、貼付済の「検定料納付証明書」を切り取って、新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。 イ 検定料が振り込まれていない場合、振込済の「検定料納付証明書」が検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合、及び「検定料納付証明書」に日附印が押印されていない場合は出願書類を受理しない。</p> <p>⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p>

	<p>ア 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった（出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。</p> <p>※問い合わせ先 長崎大学財務管理課資金管理班 TEL 095-819-2060</p> <p>※東日本大震災、熊本地震により被災された志願者には、検定料免除の特別措置を行うので、以下へ連絡すること。 研究科入試担当：薬学系事務室学務担当（TEL 095-819-2416） なお、詳細については、本学ホームページにも掲載している。</p>
返送用封筒	<p>定形用長形3号 1枚 受験票の返送に使用するので、志願者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ郵便切手（速達料 362円）を貼付しておくこと。 なお、直接交付を希望する者は不要</p>
住所票	<p>入学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記すること。 なお、出願後に変更があった場合は届け出ること。</p>
履歴書	<p>出願資格の(3),(6)に該当する者のみ様式は市販のものを使用すること。</p>

(2) 出願方法

出願書類を郵送する場合は、本学所定の封筒を用い、平成30年7月24日（火）17時までに必着するよう「書留速達」により郵送すること。

(3) 提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号
長崎大学医歯薬学総合研究科薬学系事務室学務担当

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、成績証明書、TOEICスコア及び面接等の結果を総合して行う。

(1) 学力検査科目

専門科目	「生化学」、 「物理・分析化学」、 「有機化学」の各分野から出題された問題（各分野毎に2題、合計6題）から、任意に3題を選択して解答すること。
------	---

(2) 配点

外国語 (TOEIC スコア)	学力検査 (専門科目)	面接	合計
100	150	100	350

※なお、いずれかの科目の得点率が著しく低い場合は不合格とする。

7. 試験期日・試験科目・時間及び試験場

試験期日	試験科目	時間	試験場
平成30年8月20日(月)	専門科目	10:00～11:45	長崎大学薬学部 (文教キャンパス)
	面接	13:00～	

※試験場の下見は、平成30年8月17日(金)の13:00～17:00までとする。

※受験者は、専門科目の試験開始15分前までに所定の試験場に入室すること。

8. 合格者発表

平成30年9月12日(水) 10時

薬学部玄関前に掲示するとともに、合格者に対しては、本人あて通知する。

電話等による可否の問い合わせには応じない。

9. 注意事項

- 出願に際しては、予め志望の指導教員に照会のうえ提出すること。
- 出願後の書類の変更、検定料の返還及び提出書類の返却には、次の場合を除き、一切応じない。
 - TOEIC公式スコアについては、出願時に提出済みであっても、その後新たに本試験日より過去2年以内の公式スコア(スコアレポート)を入手した場合は、提出済みの公式スコア(スコアレポート)と差し替えることができる。なお、差し替えの申し出は、本試験日の前日までとする。
 - 検定料については、検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。
- 出願書類に虚偽の記載があった場合には、入学後であっても入学を取消すことがある。
- 出願書類を郵便で請求する場合は、角形2号封筒に住所、氏名を明記し、250円切手を貼付したものを同封して申し込むこと。また、出願に関する事項その他について郵便で照会するときは、所要の郵便切手を貼付した返信用封筒を同封すること。
- 試験開始後30分以内の遅刻者(入室者)は受験を認めるが、30分を超える遅刻者には受験を認めない。

10. 入学願書の記入方法

入学志願者は、研究分野名を第3志望まで記入すること。(記入しない場合は不合格となることがある。)17, 18ページを参照のこと。

なお、同じ区分から複数の研究分野を記入してよい。

(記入例)

	研究分野名
第1志望	薬化学
第2志望	細胞制御学
第3志望	薬剤学

11. 出願資格の認定等について

出願資格の(9)～(11)により出願する場合の資格認定については、次のとおり行う。

(1) 認定手続

次の書類を平成30年7月2日(月)までに提出すること(必着)

- ア. 大学の学業成績証明書（出願時まで取得した単位数と評価が記載されたもの）
 - イ. 在学証明書（3年次在学中の者のみ）
 - ウ. 履修の手引（授業内容一覧を含む）
- (2) 資格認定方法
資格認定方法は、原則として提出された書類を審査して行うが、面接を行う場合がある。この場合は後日、直接本人へ通知する。
- (3) 認定結果の通知
認定の結果は、出願前までに本人あて通知する。
なお、出願資格があると認められた者は、一般の志願者と同様に出願手続を行うこと。

12. 入学手続

【平成30年10月入学】

- ① 入学手続期間・受付期間
平成30年9月14日（金）から平成30年9月19日（水）17時まで
（入学手続きを郵送で行う場合は、期限内に必着のこと。）
- ② 入学手続書類
合格通知書に同封する。
- ③ 入学手続時の必要経費
入学料：282,000円 （注）既納の入学料は返還しない。
- ④ 授業料：半期分267,900円〔年額535,800円〕

【平成31年4月入学】

- ① 入学手続期間・受付期間
平成31年3月4日（月）から平成31年3月8日（金）17時まで
（入学手続きを郵送で行う場合は、期限内に必着のこと。）
合格者には、平成31年2月中旬に入学手続きに必要な書類を送付する。
- ② 納付金の納入
入学料：282,000円 （注）既納の入学料は返還しない。
参考：1. 平成30年度授業料(年額)・・・535,800円
（前期分267,900円、後期分267,900円）
2. 授業料の納付時期は、前期分4月、後期分10月になる。
3. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。
4. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。

13. 追加募集

一般入試（8月募集）において、合格者が募集人員に満たない場合は、追加募集を行うことがある。

平成31年4月の入学者数が募集人員に満たなかった場合は、その不足数を平成31年度中に実施する平成31年10月入学の募集人員に加えて選抜する。

14. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。
また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。
- (2) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験の成績は、奨学生への推薦資料並びに入学料免除等及び授業料免除等の選考資料に利用する。
- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

(4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

15. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする者は、出願の前に本研究科薬学系事務室学務担当に相談すること。入学者選抜においては、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要により配慮の内容を記載した申請書の提出を求める場合がある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

16. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貨易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますので、ご留意ください。

なお、詳細については、本研究科薬学系事務室学務担当までお問い合わせください。

17. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学医歯薬学総合研究科

薬学系事務室学務担当（電話 095-819-2416）

URL <http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/admission/recruitment.html>

Ⅲ. 外国人留学生入試

1. 募集人員

【平成30年10月入学】

専攻	平成30年10月入学 募集人員
	8月募集
生命薬科学専攻 (博士前期課程)	若干人

【平成31年4月入学】

専攻	平成31年4月入学 募集人員
	8月募集・1月募集
生命薬科学専攻 (博士前期課程)	若干人

2. 出願資格

【平成30年10月入学】

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (2) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年9月までに修了見込みの者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年9月末までに授与見込みの者
- (4) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年9月30日までに22歳に達する者
- (5) 文部科学大臣の定めるところにより、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科において、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認められた者

なお、出願資格（4）及び（5）により出願する者は、事前に資格を認定する必要があるため、14ページに記載してある「10. 出願資格の認定等について」に従って関係書類を提出すること。また、上記（3）については、予め本研究科薬学系事務室学務担当に必ず問い合わせること。

【平成31年4月入学】

日本国籍を有しない者（日本国永住許可を得ている者を除く。）で次のいずれかに該当するものとする。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (2) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を

- 修了した者及び平成31年3月までに修了見込みの者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成31年3月末までに授与見込みの者
- (4) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、平成31年3月31日までに22歳に達する者
- (5) 文部科学大臣の定めるところにより、大学に文部科学大臣の定める年数以上在学した者（これに準ずる者として文部科学大臣が定める者を含む。）であって、本研究科において、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めた者

なお、出願資格（4）及び（5）により出願する者は、事前に資格を認定する必要があるため、14ページに記載してある「10. 出願資格の認定等について」に従って関係書類を提出すること。また、上記（3）については、予め本研究科薬学系事務室学務担当に必ず問い合わせること。

3. 検定料振込期間

8月募集：平成30年7月13日（金）から平成30年7月24日（火）

1月募集：平成31年1月4日（金）から平成31年1月9日（水）

※ 銀行の営業日、営業時間等を十分考慮して手続きを行うこと。

4. 出願期間

8月募集：平成30年7月17日（火）から平成30年7月24日（火）17時必着

1月募集：平成31年1月4日（金）から平成31年1月9日（水）17時必着

※ 検定料を出願締切日に振り込む場合は、その後、当日17時までに出願書類一式を持参することになるので注意すること。

5. 出願手続

(1) 出願に必要な書類等

出願書類等	摘 要
入学志願票	本研究科所定の用紙 ※印以外の欄はすべて記入すること。
写真票・受験票	・写真は、上半身、無帽、正面向きで、出願前3か月以内に撮影したものを貼付すること。
成績証明書	・出身大学長又は学部長が作成し厳封したもの ・大学以外等については、最終学校長の証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
学位授与（見込）証明書	出願資格の（3）に該当する者のみ
卒業（見込）証明書	・出身大学長又は学部長が作成したもの ・大学以外等については、最終学校長の証明したもの ただし、出願資格審査時に提出した者は不要
検定料納付証明書 貼付票	・検定料納付証明書貼付票には、受付金融機関の「日附印」が押印された「検定料納付証明書」を貼り付けること。 ただし、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は不要
検 定 料	30,000円 ① 振込期間：検定料振込期間による。

	<p>② 振込場所：郵便局・ゆうちょ銀行又は銀行の受付窓口 (ATMは使用不可。必ず受付窓口で払い込むこと。)</p> <p>③ 振込に際しての留意事項</p> <p>ア 振込時に別途必要な振込手数料は、入学志願者本人の負担となる。</p> <p>イ 「振込書」の※に、入学志願者の住所・氏名(フリガナ)及び電話番号をボールペン(黒又は青)で正確に記入すること。</p> <p>ウ 「検定料納付証明書」を受付窓口から受け取る際には、必ず郵便局・ゆうちょ銀行又は銀行の日附印を確認すること。</p> <p>④ 出願に際しての留意事項</p> <p>ア 検定料納付証明書貼付票に検定料を振込済の「検定料納付証明書」を貼り付けた後に記入誤り等に気付き、やむを得ず新しい検定料納付証明書貼付票に書き替えなければならない場合は、検定料は二重に振り込まないこと。その場合は、貼付済の「検定料納付証明書」を切り取って、新しい検定料納付証明書貼付票に貼り付けること。</p> <p>イ 検定料が振り込まれていない場合、振込済の「検定料納付証明書」が検定料納付証明書貼付票の所定の欄に貼り付けていない場合、及び「検定料納付証明書」に日附印が押印されていない場合は出願書類を受理しない。</p> <p>⑤ 既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>ア 検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。</p> <p>⑥ 日本政府(文部科学省)国費外国人留学生については検定料は徴収しない。</p> <p>※問い合わせ先 長崎大学財務管理課資金管理班 TEL 095-819-2060</p> <p>※東日本大震災、熊本地震により被災された志願者には、検定料免除の特別措置を行うので、以下へ連絡すること。 研究科入試担当：薬学系事務室学務担当(TEL 095-819-2416) なお、詳細については、本学ホームページにも掲載している。</p>
返送用封筒	<p>定形用長形3号 1枚</p> <p>受験票の返送に使用するので、志願者の郵便番号・住所・氏名を明記のうえ郵便切手(速達料362円)を貼付しておくこと。</p> <p>なお、直接交付を希望する者は不要</p>
住所票	<p>入学志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記すること。</p> <p>なお、出願後に変更があった場合は届け出ること。</p>
在留資格を証明するもの	<p>在留カード又は、旅券の写しを添付すること。(現に日本国に在住していない者は、渡日後、直ちに提出すること。)なお、出願書類はそれらの書類等記載の氏名を用いること。</p>

(2) 出願方法

出願書類を郵送する場合は、本学所定の封筒を用い、8月募集は、平成30年7月24日(火)17時までに、1月募集は平成31年1月9日(水)17時までに必着するよう「書留速達」で郵送すること。

(3) 提出先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号
長崎大学医歯薬学総合研究科薬学系事務室学務担当

6. 選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、成績証明書及び面接等の結果を総合して行う。

(1) 学力検査科目

外国語	英語を母国語とする者については日本語，その他の者は英語又は日本語で行う。
専門科目	志望する専門教育分野について行う。 (日本語あるいは英語のいずれかで行う。)

(2) 配点

学力検査(外国語)	学力検査(専門科目)	面接	合計
100	100	30	230

※なお、いずれかの科目の得点率が著しく低い場合は不合格とする。

7. 試験期日・試験科目・時間及び試験場

試験期日	試験科目	時間	試験場
8月募集： 平成30年8月20日(月)	外国語	9:30～10:30	長崎大学 薬学部 (文教キャンパス)
	専門科目	10:50～11:50	
1月募集： 平成31年1月25日(金)	面接	13:00～	

※試験場の下見は、平成30年8月17日(金)及び平成31年1月24日(木)の13:00～17:00までとする。

※受験者は、外国語の試験開始15分前までに所定の試験場に入室すること。

8. 合格者発表

8月募集：平成30年9月12日(水) 10時

1月募集：平成31年2月13日(水) 10時

薬学部玄関前に掲示するとともに、合格者に対しては、本人あて通知する。

電話等による合否の問い合わせには応じない。

9. 注意事項

(1) 出願に際しては、予め志望の指導教員に照会のうえ提出すること。

(2) 出願後の書類の変更、検定料の返還及び提出書類の返却には、次の場合を除き、一切応じない。

検定料については、検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった(出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった)場合、又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以

内とする。

- (3) 出願記載に虚偽の記載があった場合には、入学後であっても入学を取消すことがある。
- (4) 出願に関する事項その他について郵便で照会するときは、所要の郵便切手を貼付した返信用封筒を同封すること。
- (5) 試験開始後30分以内の遅刻者（入室者）は受験を認めるが、30分を超える遅刻者には受験を認めない。

10. 出願資格の認定等について

「2. 出願資格（4）、（5）」により出願する場合の資格認定については、次のとおり行う。

(1) 認定手続

8月募集：平成30年 7月 2日（月）

1月募集：平成30年11月30日（金）

次の書類を期日までに提出すること（必着）。

- ア. 出願資格認定申請書（本研究科所定の用紙）
- イ. 卒業証明書
- ウ. 成績証明書

(2) 資格認定方法

資格認定方法は、原則として提出された書類を審査して行うが、面接を行う場合がある。この場合は後日、直接本人へ通知する。

(3) 認定結果の通知

認定の結果は、出願前までに本人あて通知する。

なお、出願資格があると認められた者は、一般の志願者と同様に出願手続を行うこと。

11. 入学願書の記入方法

入学志願者は、研究分野名を第3志望まで記入すること。（記入しない場合は不合格となることがある。）17、18ページを参照のこと。

なお、同じ区分から複数の研究分野を記入してよい。

(記入例)

	研 究 分 野 名
第1志望	薬 化 学
第2志望	細胞制御学
第3志望	薬 剤 学

12. 入学手続

【平成30年10月入学】

(1) 入学手続期間・受付期間

平成30年9月14日（金）から平成30年9月19日（水）17時まで
（入学手続きを郵送で行う場合は、期限内に必着のこと。）

(2) 入学手続書類

合格通知書に同封する。

(3) 入学手続時の必要経費

①入学料：282,000円〔入学手続期間内に振込むこと〕

②授業料：267,900円〔年額535,800円〕

(注) 1. 既納の入学料は返還しない。

2. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用

される。

3. 合格者で日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料、授業料は必要ない。

【平成31年4月入学】

(1) 入学手続期間・受付期間

平成31年3月4日（月）から平成31年3月8日（金）17時まで

（入学手続きを郵送で行う場合は、期限内に必着のこと。）

合格者には、平成31年2月中旬に入学手続きに必要な書類を送付する。

(2) 納付金の納入

入学料：282,000円

参考：1. 平成30年度授業料(年額)・・・535,800円

（前期分267,900円，後期分267,900円）

2. 授業料の納付時期は、前期分4月，後期分10月になる。

3. 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。

4. 既納の入学料は返還しない。

5. 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

6. 合格者で日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料、授業料は必要ない。

13. 個人情報の取扱

- (1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。

また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。

- (2) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験の成績は、奨学生への推薦資料並びに入学料免除等及び授業料免除等の選考資料に利用する。

- (3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

- (4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第9条に規定されている場合を除き、以上の目的以外の目的で利用すること又は第三者に提供することはない。

14. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする者は、出願の前に本研究科薬学系事務室学務担当に相談すること。入学者選抜においては、事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。また、必要により配慮の内容を記載した申請書の提出を求める場合がある。事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っています。

15. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貨易法」に基づく安全保障輸出管理を行っています。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合がありますので、ご注意ください。

なお、詳細については、本研究科薬学系事務室学務担当までお問い合わせください。

16. 試験に関する問い合わせ先

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学医歯薬学総合研究科

薬学系事務室学務担当（電話 095-819-2416）

URL <http://www.mdp.nagasaki-u.ac.jp/admission/recruitment.html>

各 研 究 分 野 の 研 究 内 容

生命薬科学専攻

区分	研究分野	指導教員	研究内容
創薬科学	細胞制御学	教授 武田 弘資 准教授 谷村 進	① ミトコンドリアのストレス受容・応答機構 ② 炎症制御におけるミトコンドリアの機能 ③ マクロファージ系細胞の炎症誘導性細胞死の機構 ④ 細胞運動の分子機構
	薬化学	教授 田中 正一 准教授 大庭 誠	① 非タンパク質構成アミノ酸の設計・合成とその医薬化学的利用 ② ヘリカルペプチドの不斉有機分子触媒としての利用 ③ 細胞膜透過性オリゴマーの設計と応用研究
	創薬薬理学	教授 植田 弘師 ^{※1} 准教授 塚原 完	① 慢性疼痛に共通する原因分子としてのLPAの分子神経生物学 ② 新規脳保護分子プロサイモシン・アルファの分子神経生物学 ③ エピゲノム制御を基礎とした創薬研究
	薬品製造化学	教授 石原 淳 准教授 福田 隼	① 高効率的不斉合成法の開発研究 ② 新規合成反応剤の開発研究 ③ 特異な生物活性を持つ天然物の合成研究
	医薬品合成化学	教授 尾野村 治 准教授 栗山 正巳	① 医薬品を指向した高選択的新有機合成反応の開拓研究 ② 生体内代謝を範とする酸化 ③ α-アミノ酸の電極酸化を利用した光学活性含窒素生理活性化合物の合成 ④ 糖鎖工学のための選択的反応の開拓
	ゲノム創薬学	教授 岩田 修永 准教授 城谷 圭朗	① アルツハイマー病の発症メカニズムの解明と予防・治療法の確立 ② アルツハイマー病早期診断のためのバイオマーカーの検索 ③ アルツハイマー病研究への人工多能性幹細胞(iPS細胞)技術の応用 ④ <i>In vivo</i> 遺伝子導入技術の開発
	※2 感染分子薬学	准教授 北里 海雄	① ウイルス性疾患の発症機構の分子生物学的解析 ② 免疫制御活性を持つ乳酸菌に関する研究 ③ ウイルス感染の免疫制御機構に関する研究 ④ 抗ウイルス薬の研究開発
天然薬物学	天然物化学	教授 田中 隆 准教授 齋藤 義紀	① 天然資源からの機能性有機化合物の探索と構造解析研究 ② ポリフェノールの構造、反応、機能に関する研究およびその産業的応用 ③ 植物二次代謝産物の種内多様性に関する研究 ④ 植物組織培養を用いた二次代謝制御機構に関する研究
	薬用植物学	准教授 山田 耕史	① 薬用植物の生理活性成分に関する化学的研究 ② 海洋無脊椎動物由来の生理活性成分に関する創薬化学的研究 ③ 海洋微生物由来の生理活性成分に関する創薬化学的研究
	薬品構造解析学	准教授 真木 俊英	① 分子構造解析用試薬の合成と機能に関する研究 ② 有機合成を基盤とする医薬品候補分子の構造活性相関に関する研究 ③ 実用的有機合成反応の開発と創薬への応用
健康薬科学	機能性分子化学	教授 山吉 麻子	① ノンコーディングRNAの機能制御を目指した核酸医薬開発 ② 体液循環型細胞外小胞を介在した新しいドラッグ・デリバリー・システムの構築 ③ 遺伝子発現のエピジェネティック制御機構を標的とした革新的光操作技術の開発
	衛生化学	教授 中山 守雄 ^{※1} 准教授 淵上 剛志	① 魚貝類中のセレン含有成分の分析とその効能の解析 ② 脳内のセレン結合タンパク質の同定と結合様式の解析 ③ グルタチオンペルオキシダーゼ様活性を有するナノスフェアの創製 ④ がん選択的な診断や治療のためのsurvivinを標的としたセラノスティクスの開発 ⑤ プリオン病における感染分子イメージングプローブの開発 ⑥ サイクロトロンを必要としないPET薬剤製造システムの構築
	薬品分析化学	教授 黒田 直敬 准教授 岸川 直哉	① ルミネセンスを利用する有機分析試薬の開発と応用 ② 微量生体成分及び医薬品の高感度分析法の開発 ③ 生体成分の精密分離分析法の開発 ④ 分離分析用機能性充てん剤の開発と応用

区分	研究分野	指導教員	研究内容
臨床 薬学	薬物治療学	教授 塚元 和弘 准教授 稲嶺 達夫	① 様々な多因子疾患の発症や病態生理や治療効果に関連する遺伝子研究 ② 治療薬の治療効果や副作用の発症を予測できる遺伝子診断法の開発 ③ 慢性肝疾患の進行に関わる腸内細菌叢の研究
	医薬品情報学	教授 川上 茂 准教授 萩森 政頼	① 脳やがんを標的とした外部刺激応答性DDSの開発 ② 標的指向型リボソームの製剤設計と機能評価 ③ 遺伝子・核酸デリバリーシステムの開発 ④ 医薬品の有効性・安全性評価に関する研究 ⑤ がんの治療・診断を目的とした分子イメージングプローブの開発
	薬剤学	教授 西田 孝洋 准教授 麓 伸太郎	① 標的部位への薬物送達を指向した体内動態の制御 ② 副作用の軽減を目的とした最適な薬物治療法の開発 ③ 新規投与形態の開発を目指したドラッグデリバリーシステムに関する研究 ④ 治療の最適化を目的とした遺伝子医薬品の体内動態制御法および製剤設計法の開発

※1 平成31年3月定年退職予定。

※2 感染分子薬学研究室を第1志望とする場合は、必ず薬学系事務室学務担当(Tel. 095-819-2416)まで問い合わせること。

入学志願票

(一般入試・外国人留学生入試)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 (博士前期課程)

平成30年10月入学者

(フリガナ) 氏名	-----		受験番号	※	
性別・生年月日	男・女	昭和 平成	年 月 日		
現住所	〒			☎	
合格通知送付先	〒			☎	
研究分野名	志望順位	研究分野名			
	第1志望				
	第2志望				
	第3志望				
最終学歴	大学	学部	学科	昭和 平成	年 月卒業・卒業見込 (課程)
履歴事項	平成	年 月	高等学校卒業		
	平成	年 月			
	平成	年 月			
	平成	年 月			
	平成	年 月			
	平成	年 月			

(注) 1. ※印欄は記入しないこと。

2. 研究分野名を第3志望まで記入すること。(記入しない場合は不合格となる場合がある。)

3. 受験票との志望順位を間違えずに記入すること。

4. 履歴事項は高等学校卒業から現在までを記入すること。

5. 外国人は、学校教育における課程がわかるように初等教育から記入すること。

(一般入試・外国人留学生入試)

平成30年10月入学者

受 験 票			
受 験 番 号		(フリガナ) 氏 名	-----
※			
研 究 分 野 名	志望順位	研 究 分 野 名	写 真 縦4cm×横3cm 上半身無帽正面 向き、出願前3 ヶ月以内に撮影 したもの
	第1志望		
	第2志望		
	第3志望		

1. ※印欄は記入しないこと。
2. 研究分野名を第3志望まで、志願票と同じように記入すること。

----- 切り離さないで下さい -----

写 真 票		
受 験 番 号	※	写 真 縦4cm×横3cm 上半身無帽正面 向き、出願前3 ヶ月以内に撮影 したもの
(フリガナ) 氏 名	-----	
(注) ※印欄は記入しないこと。		

----- 切り離さないで下さい -----

検定料納付証明書貼付票

住 所		受験番号	
(フリガナ) 氏 名	-----		
志望研究科・専攻	医歯薬学総合研究科・生命薬科学専攻		
検 定 料 納 付 証 明 書 貼 付 欄			
受付窓口で払い込んだ際に受領する検定料納付証明書（日附印が押印されていることを確認すること。）をこの枠内の文字の上から貼り付けること。 （検定料納付証明書の上を左側にして貼付）			

入学志願票

(一般入試・外国人留学生入試)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 (博士前期課程)

平成31年4月入学者

(フリガナ) 氏名	-----		受験番号	※
性別・生年月日	男・女	昭和 平成	年 月 日	
現住所	〒			☎
合格通知送付先	〒			☎
研究分野名	志望順位	研究分野名		
	第1志望			
	第2志望			
	第3志望			
最終学歴	昭和 大学 学部 学科 年 月卒業・卒業見込 (課程) 平成			
履 歴 事 項	平成 年 月			高等学校卒業
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			
	平成 年 月			

(注) 1. ※印欄は記入しないこと。

2. 研究分野名を第3志望まで記入すること。(記入しない場合は不合格となる場合がある。)

3. 受験票との志望順位を間違えずに記入すること。

4. 履歴事項は高等学校卒業から現在までを記入すること。

5. 外国人は、学校教育における課程がわかるように初等教育から記入すること。

(一般入試・外国人留学生入試)

平成31年4月入学者

受 験 票			
受 験 番 号		(フリガナ) 氏 名	-----
※			
研 究 分 野 名	志望順位	研 究 分 野 名	写 真 縦4cm×横3cm 上半身無帽正面 向き、出願前3 ヶ月以内に撮影 したもの
	第1志望		
	第2志望		
	第3志望		

1. ※印欄は記入しないこと。
2. 研究分野名を第3志望まで、志願票と同じように記入すること。

----- 切り離さないで下さい -----

写 真 票		
受 験 番 号	※	写 真 縦4cm×横3cm 上半身無帽正面 向き、出願前3 ヶ月以内に撮影 したもの
(フリガナ) 氏 名	-----	
(注) ※印欄は記入しないこと。		

----- 切り離さないで下さい -----

検定料納付証明書貼付票

住 所		受験番号	
(フリガナ) 氏 名	-----		
志望研究科・専攻	医歯薬学総合研究科・生命薬科学専攻		
検 定 料 納 付 証 明 書 貼 付 欄			
受付窓口で払い込んだ際に受領する検定料納付証明書（日附印が押印されていることを確認すること。）をこの枠内の文字の上から貼り付けること。 （検定料納付証明書の上を左側にして貼付）			

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 入学試験出願資格認定申請書

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科長 殿

貴大学大学院医歯薬学総合研究科（博士前期課程）入学試験に出願したいので、出願資格の認定を申請します。

平成 年 月 日

カガナ

氏名（自国語） _____

（ローマ字） _____

国 籍		生年月日	年 月 日	性別	男・女
現住所	〒 _____ Tel () _____				
学 歴	教育課程	学 校 名	正規の修業年限	入学・卒業の年月	
	初等教育 (小学校)			入学 年 月	卒業 年 月
	中等教育 (中学校及び 高等学校)			入学 年 月	卒業 年 月
				入学 年 月	卒業 年 月
	高等教育 (大学等)			入学 年 月	卒業 年 月
				入学 年 月	卒業 年 月

住 所 票

入学に関する書類等を受ける郵便番号、住所、氏名等を正確に記入すること。

アパート・団地等の場合は名称等を正確に記入すること。

また、出願後、住所等が変更した場合は、速やかに届け出ること。

【合格通知送付用】

〒□□□-□□□□	

様方	

様	

※受験番号	

【入学手続送付用】

〒□□□-□□□□	

様方	

様	

※受験番号	

※印欄は記入しないこと。

出願書類とともに提出すること。